

<p>2. 災害時における孤立可能性集落対策について</p> <p>(1) 対象集落精査の進捗状況について</p> <p>(2) 対象集落に対する取り組みについて</p> <p>(3) 佐野市地域防災計画（孤立集落災害予防対策）について</p>	<p>④ 振袖やスーツ等のレンタル・購入に対する助成制度新設についての見解を伺います。</p> <p>① 県主導で行っている真に対策が必要な地域の特定について、現在の進捗状況を伺います。</p> <p>② 対象地域の人口、世帯数、町会数を伺います。</p> <p>③ 対象集落について、どのようなポイント・条件で精査されているのでしょうか。</p> <p>① 令和8年度予算に新規事業「孤立可能性集落対策事業 13,783 千円」計上。特性に応じた調査費用が含まれるとありますが、この内容について伺います。</p> <p>② 令和7年5月に行われた訓練は公助に特化した、公的機関間の連携強化のための訓練実施。その後の訓練等に係る取組について伺います。</p> <p>③ 市民への周知についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>④ 市が特定する集落において、大規模な災害時における広域避難の想定についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>① 「未然防止対策の実施」では県による土砂災害の危険個所の対策工事と併せ、市の治山対策の促進や監視体制の強化も重要と考えます。見解を伺います。</p> <p>② 「発生時に備えた取組の実施」の緊急用飛行場外離着陸場用地の確保について、適した土地の確保に努めるとありますが、現在の確保、維持管理状況について伺います。</p> <p>③ 「市民への普及啓発等」では訓練等の実施、備蓄量等の明示がされています。対象住民が最も留意すべき点を伺います。</p>
--	---